

看護学専攻

●専攻の教育理念と教育目的

看護学教育者、看護学研究者及び高度看護専門職者の育成を図るとともに、看護学の発展と地域医療に貢献することを目的としています。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

1. 専門領域における高度な専門知識と看護理論に関する知識を修得している。
2. 現場で生じている問題を科学的・論理的に思考することにより、解決する方法を見出すことができる。
3. 看護実践、看護教育、看護研究の発展を目指して、自らの能力を向上していくことができる。
4. 看護の現場で生じている疑問に基づき、研究を実施し、公表できる。
5. 医療チームにおけるリーダーとして、メンバーの役割を理解し、メンバー同士の協働・連携を促進することができる。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

1. 看護学の各専門領域における知識や技能の修得、看護実践や看護学の将来に対する積極的な姿勢と展望をもっている者
2. 看護学の発展に寄与し看護実践、教育指導、研究能力を高めるために主体的、建設的に学ぶことを目指す者
3. 将来にわたり自立して看護学の研究活動の継続を目指す者
4. 保健、医療、福祉などの医療チームの中核となり、チームメンバーと協働する能力をもち社会に貢献できることを目指す者
5. 人間に対するより深い愛情と洞察力をもち、支援者として成長が期待できる者

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針、カリキュラムの特徴・特色)

カリキュラムの概要

本専攻では、「地域健康システム看護学」「基盤・実践看護学」の2領域と共通科目を設定し、指導教員のもとでそれぞれの専門領域における知識や研究遂行能力を養うことが可能です。さらに、個々の学生の必要性に合わせて、関連した専門領域や先進的な看護学の科目を選択的に修得することができます。また、社会人看護職者が職業と両立して学習を進められるよう、夜間・休暇中に開講を行うなど、学びやすい環境を整えています。